

生産者のみなさまへ！

プラスチック被覆肥料の 被膜殻の流出防止に ご協力ください



プラスチック被覆肥料



プラスチック被覆肥料は、軽労化や施肥量の削減につながるなどの利点がありますが、表面をプラスチックの被膜でコーティングしているため、水田では肥料成分が溶出した後の被膜殻が水面に浮上し、河川等へ流出する可能性があります。

肥料成分が溶出した後の被膜殻



**水田外へ
流さないために**
まず出来る取組から
始めましょう！



くわしくは裏面へ

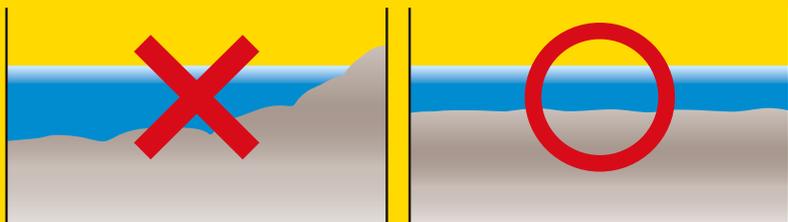
作業のポイント

畦畔管理

- あぜが崩れていないかを確認し、必要に応じてあぜ塗りやあぜシートを設置する。

!重要! 浅水代かき ※流出した被膜殻の大半がこの時期のものです。

- 入水までに田面の高低差をなくす。
 - 代かきはできるだけ浅水で行う。
 - 田植え前の落水は行わず、自然落水で水位を調整する。
- ※これらは被膜殻だけではなく、濁水や肥料成分の流出防止にも有効な取組です。



入水までに田面の高低差をなくす



代かきは浅水で

施肥方法・肥料の見直し

- 土壌診断や栽培暦等に基づいた適正施肥に努める。
- 施肥量の削減につながる側条施肥技術の導入を検討する。
- 樹脂を使用していない肥料や流し込み液肥の導入を検討する。
- 緑肥や堆肥などの有機質肥料の導入を検討する。

参考情報(被覆原料の表示について)

被覆原料に何が使用されているのかについて肥料の容器包装等に表示することとなりました。被覆肥料を使用する場合、被覆原料をご確認いただき、被膜殻の流出防止対策の参考にしてください。

対策動画



被覆肥料に関する情報

